

キャンプファイヤー

1 実施時期

4月から11月末日まで(12月~3月実施できません=屋外水道施設使用不可のため)

2 自然の家で準備できる物

◆無料で貸出し

貸出場所	貸出物品
事務室	①衣装類(火の神 火の巫女の衣装, つえ, 髪飾り) ②音響機器 (CD デッキ, ワイヤレスアンプ, マイク等)
ファイヤー場 (各倉庫)	③ファイヤー用道具 (スコップ, 火ばさみ, じゅうのう, 消火用バケツ, ほうき他) ④火文字ネット ⑤ロード缶

※いこい広場・ファミリーファイヤー場には、放送設備あり

放送機器ボックスの鍵, ワイヤレスマイク (CD デッキ) を持参

◆有料物品

①追加丸太 ②追加薪 ③追加トーチ棒 ④追加灯油 ※価格は(株)旭高原のHPで確認

3 事前準備

(1)実施判断

雨天時、強風等荒天時はファイヤーが実施できません。最終的な実施判断は、団体の責任で判断していただきます。自然の家所員も相談にのります。

(2) 場所の選定

活動場所は、3つのファイヤー場から事前に選びます。同宿団体がある場合は、それぞれの希望を調整して決定します。

(3) 資材の準備

ファイヤー場にあるスチール物置の中に、薪や灯油、トーチ棒などが保管してあります。また、準備・後片づけに使う道具も保管してあります。団体で井桁組みをする場合は、ナタを事務室で貸し出します。明るいうちに安全に準備をして、ブルーシート(雨・湿気防止)をかぶせておいてください。

4 後片付け

火の神衣装類、放送関係機材、放送ボックス鍵などは、事務室に返却してください。

火の後始末は【ファイヤー消火点検表】に従って行ってください。

基本

- ・丸太やファイヤーサークルに水をかけない
- ・残炭(残った炭火)は、ペール缶に集め水消火する

5 その他

ファイヤー場周辺の外灯は消すことができます。所員にご相談ください。

キャンプファイヤー・キャンドルサービスの基本的な流れ

展 開	進 行	留意点
準備	<ul style="list-style-type: none"> ・係ミーティング → ・リハーサル ・準備（井桁、BGM、出し物道具他） 	
第1部 点火のセレモニー(10~20分)		
参加者入場 開会の言葉 歌唱 火の神入場 火の神の言葉 点火 （分火の場合） 歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな円となるよう入場 司会（または、代表児童生徒）による「遠き山に日・・・」等1番歌、2番ハミング 歌唱に合わせて火の精先導で、火の神入場（火の神の言葉の例参照） 火の精が井桁に点火する（精→代表児童） 司会の合図で火の守は井桁 ※キャンドルサービスでは、個人のキャンドルにリレー形式で分火を行ってもよい 「燃えろよ、燃えろ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・私語を慎む ・輪の中（井桁の周り）を一周 ・井桁の下部に点火する ・火を見つめながら
第2部 交流のつどい(40~60分)		
スタンツ ゲーム・ダンス等 「猛獣狩り」 「ジェスチャーゲーム」	<ul style="list-style-type: none"> 各グループ（クラス）のスタンツ発表【寸劇、歌、ダンス、ゲームなど】 グループ発表の間に、全体での歌や簡単なゲーム、ダンスを入れて、変化をさせるとよい ※ファイヤークールが出し物ごとに、井桁の炎を立たせるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・出し物は、暗い中での発表に適するものを考案したい ・ゲームリーダーが雰囲気を作るようにする
第3部 消火のセレモニー(10分)		
歌唱 分火 【誓いの言葉】 歌唱（楽器演奏） 火の神退場 閉会の言葉 退場	<ul style="list-style-type: none"> 「一日の終わり」など 火の神の一言の後、クラスまたは個人に分火 代表児童が誓いの言葉を発表する 「今日の日はさようなら」2番からハミング 歌の途中で、火の精を先頭に井桁一周して退場 司会（または、代表児童生徒）による 全員無言で退場（司会の指示により） ※ファイヤークールを退場していく方法もある 	<ul style="list-style-type: none"> ・心を静めるため、星空を見上げることも ※雰囲気合った詩を朗読、楽器演奏も ・ロード缶に点火しておく
片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・消したあった屋外灯の点灯 ・井桁の消火処理（キャンプ場のルールに従う） ・スタンツ小道具の撤収、借りた機器の返却 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣装、放送機器

※展開例は一例です。集団の年齢や構成、実態に応じて、様々な方法が考えられます。点火、分火、消火の方法についても、感動的な演出を考え、行ってみてください。

※キャンプファイヤーとキャンドルサービスの基本的な流れに差がありません。キャンドルサービスの方が、団体による自由な構成・細かな演出が可能です。

各種の言葉 参考例

エールマスター 開会の言葉

今日一日、私たちの野外活動を照らしてくれた太陽も、もう西の山に落ち、静かな夜がここ●●に訪れようとしています。山の緑の香りや木々の息づかいを感じながら、私たちのキャンプファイヤーを始めます。

火の神の言葉【ショートバージョン】

私は、この旭高原に住む火の神である。今宵は皆のため、火をさずけに降りてきた。考えて欲しい。人々は火を自由に扱えることによって、このように発展をとげてきたのだ。今こうして私がさずけるこの火に見つめ『感謝の心』を思いおこして欲しい。その心が、皆の豊かな心をはぐくむ。そして、その先には素晴らしい未来が待ち受けているだろう。今宵が皆の素晴らしい未来のための第一歩となることを願っている。

火の神の言葉【分火バージョン】

私はこの旭高原に太古の昔より住む火の神である。火はその光と熱で、闇夜を明るく照らし、人々をけものから身を守り、食べ物を煮たり焼いたり、ものを作ったりすることに役立ってきた。火は、私たちの命を支えてくれるものなのだ。今からみなさんに3つの火を授ける。

1つ目は、信頼の火。どんな時も相手を信頼し、自分も信頼してもらえろ。

そんな人間になろう。(分火する。以下同じ。)

2つ目は、友情の火。どんな人とも友だちになり、仲良く協力し合う。

あなたも周りも心の底から温かくなるのだ。

3つ目は、希望の火。人は、様々な困難に出会う。何があってもあきらめず、

希望をいただき、力強く生きていくのだ。

あなたには『信頼の火』を授ける。

火の精「私は『信頼の火』をいただきました。いつも仲間を信じ信じられる人になります。」

あなたには『友情の火』を授ける。

火の精「私は『友情の火』をいただきました。私たちは常に協力し仲間を大切にします。」

あなたには『希望の火』を授ける。

火の精「私は『希望の火』をいただきました。私たちはどんな時も前向きに生活します。」

全 員「わたしたちは、いただいた火をいつまでも、心の中で燃やし続けます。」

エールマスター 閉会の言葉

●●で共に過ごした時間、仲間と作り上げた思い出を大切にしてください。キャンプファイヤーの火は、やがて消えるでしょう。しかし、この火、この思い出を、いつまでも心の中にもち続け、どんな時も仲間と協力し合ったことを忘れず、これからの未来を力強く生きていきましょう。私たちのキャンプファイヤーを閉じます。

キャンプファイヤー Q&A

Q1 キャンプファイヤーの意義は？

【自然に学ぶ】 夜の自然にひたる，大きな炎を仲間と囲む

【人とつながる】 炎を囲んだ仲間との交流（親睦を深める）

【自分を高める】 スタッツ，ゲームなどを通して，新しい自分を見つける。

子どもたちに感動と忘れられない思い出を作るキャンプファイヤー

暗闇の中で燃え上がる炎を囲み，心を合わせて活動する経験は，深い印象となつて参加者の心に刻まれる思い出となる。

Q2 キャンプファイヤーは，いつ行うべきか？

『最終日に行く』という決まりはない。何を狙いとするかによって決める。

Q3 ファイヤーの井桁の組み方は？

人数や場所により様々な方法が考えられる。小人数であれば『焚火』をイメージしてもよい。大人数の場合は，火を長時間維持しなくてはならないので，それなりのサイズの井桁組みが必要である。



Q4 ファイヤーの点火方法は？

① トーチ棒で直接点火する

火の神からいただいた火を火の精がトーチ棒で井桁に点火

② 針金を張り，火を走らせ点火する

小高い所から井桁まで針金を張り，トーチ棒（火の玉）をすべらせ点火

③マジック点火する

薬品やバッテリーなどの発火装置を見えないように準備し点火

Q5 キャンプファイヤーにはどんな係が必要か？

① ファイヤーチーフ（火の神）・・・キャンプの最高責任者

② エールマスター（進行係）・・・プログラムの進行し，盛り上げる司会者

③ ファイヤーキーパー（火守）・・・炎を調整しながら，雰囲気作りをする者

④ ゲームリーダー・・・全体を動かす歌やゲーム，ダンスを進行する者

※その他必要に応じ，楽器演奏者，詩の朗読者なども考えられる。

Q6 ファイヤーロードって何？

空き缶に布切れ（灯油をしみ込ませた）を入れ，ファイヤー場からの帰り道に沿って並べたもの。消火は，濡れた新聞紙をかぶせて消す。（缶＝ロード缶）

Q7 スタッツって何？

英語では，【隠し芸，寸劇，妙技】などの意味もあるようだが・・・

キャンプの場合は【各グループの出し物】と考える。井桁の位置，逆光になること，声が全員に聞こえにくいこと等を考慮した出し物を考えさせたい。